

### 3. 留学生センター教員研究活動報告

石黒 圭

#### 著書

- (1) 『よくわかる文章表現の技術Ⅰ』 P248 明治書院 2004.9
- (2) 『よくわかる文章表現の技術Ⅱ』 P287 明治書院 2004.9

#### 論文

- (1) 「「～した。」「～した。」と延々と続く文末の単調さをどう解決したらいいか」『國文學—解釈と教材の研究—』49(7)、pp42-49、學燈社、2004.6
- (2) 「中国語母語話者の作文に見られる漢語副詞の使い方の特徴」『一橋大学留学生センター紀要』7、pp3-13、一橋大学留学生センター、2004.7
- (3) 「順接の予測—予測の読みの一側面—」『一橋論叢』132(3)、pp215-234、一橋大学一橋学会、2004.9
- (4) 「理解過程と読解教育」『開かれた日本語教育の扉』松岡弘・五味政信編著、pp162-175、スリーエーネットワーク、2005.2
- (5) 「接続詞の二重使用とその表現効果」『表現と文体』中村明・野村雅昭・佐久間まゆみ・小宮千鶴子編、pp160-169、明治書院、2005.3

#### 報告書

- (1) 一橋大学国際共同研究センター第4プロジェクト編『日中両言語の重なりと異なり—日本語教育の現場から—』一橋大学国際共同研究センター、2004.7

#### 研究会発表

- (1) 「日中両言語の2字漢語の品詞のズレ—名詞と動詞の境界をめぐって—」五味政信、今村和宏との共同発表) 第7回専門日本語教育研究会研究討論会、群馬大学大学会館ミュージズホール、2005.3.5

#### 研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) : 中国語母語話者に対する社会科学系専門日本語教育のための教材開発 (研究分担者)
- (2) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)(1) : 学際的アプローチによる大学生講義理解能力育成のためのカリキュラム開発 (研究分担者)

今村 和宏

#### 論文

- (1) 「社会科学系基礎文献におけるサ変名詞のふるまい—作文指導への指針と「専門用語化指数」の試案—」『専門日本語教育研究』6、pp9-16、専門日本語教育研究会、2004.12

- (2) 「上級日本語教育における「動き」－意味を伝達し記憶を定着させる効果」『開かれた日本語教育の扉』松岡弘・五味政信編著、pp181-193、スリーエーネットワーク、2005.2

#### 教科書

- (1) 『専門分野の語彙と表現 経済学・商学篇<改訂版>』（三枝令子、西谷まりと共著）一橋大学学術日本語シリーズ 10、P270、一橋大学留学生センター、2005.3

#### 研究会発表

- (1) 「日中両言語の2字漢語の品詞のズレー名詞と動詞の境界をめぐって－」（五味政信、石黒圭との共同発表）第7回専門日本語教育研究会研究討論会、群馬大学大学会館ミュージズホール、2005.3.5

#### 研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)(2)：中国語母語話者に対する社会科学系専門日本語教育のための教材開発（研究分担者）

#### 井村 倫子

##### 論文

- (1) 「国際資料室における来室状況の分析－院生チューターの役割を中心に－」『一橋大学留学生センター紀要』7、pp45-59、一橋大学留学生センター、2004.7
- (2) “Mental Health Support Systems for Expatriates in Thailand” Hitotsubashi Journal of Social Studies, 36(2), pp61-72, Hitotsubashi University, December 2004

##### 学会発表

- (1) 「日本人からの援助行動に対する留学生の意識」（田上不二夫と共同発表）、日本教育心理学会大46回総会、富山大学、2004.10.11

##### 報告書

- (1) 『東南アジアにおける邦人の精神衛生管理システムの実態－タイのサポート資源を中心に－』平成16年度(財)医療科学研究所研究助成成果報告書、2005.3

##### 研究プロジェクト

- (1) (財)医療科学研究所 研究助成：「東南アジアにおける邦人の精神衛生管理システムの実態－タイのサポート資源を中心に－」（研究代表者）

#### 太田 浩

##### 論文

- (1) 「日本留学試験の政策的考察」『国際教育』10、pp93-115、日本国際教育学会、2004.11

## 報告書

- (1) 「調査結果概括、日本の研究フェローシップの位置づけと今後のあり方」『日本関連フェローシップ・プログラム調査』（横田雅弘、中本進一と共著）、pp9-59、（独）国際交流基金、2004.11
- (2) 『アジア・太平洋諸国の留学生受け入れ政策と中国の動向』平成 15、16、17 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 研究代表者：横田雅弘、「日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向～来るべき日本の留学交流戦略の構築～」平成 16 年度報告書、pp363、2004.3

## 学会発表

- (1) “Changes in Japan-U.S. Student Exchanges Since 9/11: A Perspective From Japan,” NAFSA 56<sup>th</sup> Annual Conference, 59, Baltimore Convention Center, May 23-28, 2004
- (2) 「オフショア・プログラムの展開－香港とシンガポールの事例から－」、『日本比較教育学会第40回大会発表要旨集録』、pp192-193、名古屋大学、2004.6.27.
- (3) 「日本留学試験から見る留学生入学選考の現状と課題」『中日留学生教育学術シンポジウム論文』、pp102-110、上海国家会計学院、2004.9.
- (4) “A Japanese Case for a 100,000 Foreign Students Recruiting and What to Learn from it,” Korean Association of International Educators Annual Conference, 17, Busan Marriott Hotel, October 29-30, 2004.
- (5) 「911 テロ事件のアメリカ留学プログラムに対する影響－日本の大学と学生の場合－」、『日本国際教育学会第15回記念大会発表要旨集録』、pp42-43、帝京大学、2004.11.14.
- (6) “Reform of Japanese Universities and the Implications for International Education,” Association of International Education Administrators Annual Conference, 17, Mayflower Hotel Washington DC, February 16-19, 2005

## 研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 B (2) : 日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向～来るべき日本の留学交流戦略の構築～ (研究分担者)
- (2) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 A (2) : 大学国際化の評価指標策定に関する実証的研究 (研究分担者)
- (3) JAFSA-JICA 研究プロジェクト: 国際協力における知のコラボレーションを目指して (研究分担者)
- (4) 国際交流基金プロジェクト: 日本と海外のフェローシップ比較調査・研究 (研究分担者)

**河野 理恵**

**論文**

- (1) 「日本人論を扱った『日本事情』の認識論的考察」『開かれた日本語教育の扉』松岡弘・五味政信編著、pp209-221、スリーエーネットワーク、2005.2

**報告書**

- (1) 『一橋大学チューター制度の調査報告 (1999～2003 年の実態調査)』一橋大学留学生センター教育研究シリーズ⑥、一橋大学留学生センター、2005.3

**シンポジウム発表**

- (1) 「学部・修士・博士課程における学習環境 (日本)」、『日中留学生教育学術シンポジウム 論文 (日文) 141-148』、中日留学生教育学術シンポジウム、上海交通大学、2004.9

**五味 政信**

**編著書**

- (1) 『開かれた日本語教育の扉』(松岡弘との共編著) スリーエーネットワーク、2005.2

**論文**

- (1) 「良い『日本語教師』像を探るー留学生が日本語教師に求めていることー」『開かれた日本語教育の扉』松岡弘・五味政信編著、pp18-29、スリーエーネットワーク、2005.2

**研究会発表**

- (1) 「日中両言語の2字漢語の品詞のズレー名詞と動詞の境界をめぐってー」(石黒圭、今村和宏との共同発表) 第7回専門日本語教育研究会研究討論会、群馬大学大学会館ミュージックホール、2005.3.5

**研究プロジェクト**

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) : 中国語母語話者に対する社会科学系専門日本語教育のための教材開発 (研究代表者)

**三枝 令子**

**著書**

- (1) 『日本語文法演習 ことがらの関係を表す表現ー複文ー』(小川誉子美と共著)、スリーエーネットワーク、2004.12

**論文**

- (1) 「終助詞「じゃない」の意味と用法」『言語文化』41、pp19-33、一橋大学語学研究室、2004.12

### 3. 留学生センター教員研究活動報告

- (2) 「日本語試験の諸問題 これまでとこれから」『開かれた日本語教育の扉』松岡弘、五味政信編著、pp65-78、スリーエーネットワーク、2005.2

#### 翻訳

- (1) 『言語テスト概論』(伊東祐郎、島田めぐみ、野口裕之と監訳)、スリーエーネットワーク、2004.8

#### 報告書

- (1) 『平成 15 年度日本語能力試験分析評価に関する報告書』(野口裕之、青木惣一他 5 名と共著)、国際交流基金・(財) 日本国際教育教会、2005.3

#### 座談会

- (1) 「「法の日本語」と法学教育(上) - 『日本法への招待』の刊行をめぐって」『書齋の窓』535、pp2-13、有斐閣、2004.6
- (2) 「「法の日本語」と法学教育(下) - 『日本法への招待』の刊行をめぐって」『書齋の窓』536、pp2-11、有斐閣、2004.8

#### 教科書

- (1) 『専門分野の語彙と表現 経済学・商学篇<改訂版>』(今村和宏、西谷まりと共著) 一橋大学学術日本語シリーズ 10、P270、一橋大学留学生センター、2005.3

#### 研究プロジェクト

- (1) 平成 16 年度～平成 19 年度科学研究費補助金 基盤研究(A)(1) : 「留学生の日本語能力測定のためのテスト項目プールの構築」(研究分担者)

#### 鶴田 庸子

##### 論文

- (1) 「メタ言語としての「丁寧」と“polite”」『開かれた日本語教育の扉』松岡弘・五味政信編著、スリーエーネットワーク、2005.2

##### 翻訳

- (1) 『異文化理解の語用論:理論と実践(Helen Spencer-Oatey, Culturally speaking: making rapport through talk across cultures)』(浅羽・田中・津留崎・成瀬との共訳)、ヘレン・スペンサー＝オーティ著、研究社、第4章担当、2004.4

#### 中本 進一

##### 論文

- (1) 「Dimensions of Identity and Foreign Students」『一橋大学留学生センター紀要』7、pp.29-44、一橋大学留学生センター、2004.7

- (2) “Cultural Mirror of Contemporary America : Discourse of Conservatism in Hollywood Narrative” Hitotsubashi Journal of law and politics, 33, Hitotsubashi University, pp19-28, February 2005

#### 報告書

- (1) 「調査結果概括、日本の研究フェローシップの位置づけと今後のあり方」『日本関連フェローシップ・プログラム調査』（横田雅弘、太田浩と共著）、pp9-59、(独)国際交流基金、2004.11

#### 研究会発表

- (1) “Cultural Mirror of Contemporary America: Discourse of Conservatism in Hollywood Narrative”, International Symposium “Cultural Typhoon” at the University of the Ryukyus, July 2004

西谷 まり

#### 論文

- (1) 「言語不安を軽減し発話能力を向上させる日本語授業」『21世紀中国における日本語教育研究』、pp11-35、吉林人民出版社、2004.6
- (2) 「社会科学分野で使われる日中同形異義語」『一橋大学留学生センター紀要』7、pp15-28、一橋大学留学生センター、2004.7
- (3) 「日本語学習者の言語不安軽減策としてのディベート活動」(松田稔樹と共著)『留学生教育』9、pp7-18、留学生教育学会、2004.12
- (4) 「ディベート活動を通じた口頭表現の指導」『開かれた日本語教育の扉』松岡弘・五味政信編著、pp194-208、スリーエーネットワーク、2005.2

#### 教科書

- (1) 『専門分野の語彙と表現 経済学・商学篇<改訂版>』（三枝令子、今村和宏と共著）一橋大学学術日本語シリーズ 10、P270、一橋大学留学生センター、2005.3

#### 学会発表

- (1) 「e-Learning を利用した留学生のための討論授業の効果と言語不安の変化」日本コミュニケーション学会第34回大会、拓殖大学、2004.6.20
- (2) 「日本語学習者の言語不安とディベート活動を通じた不安の軽減」第9回留学生教育学会、神田外語学院、2004.8.27
- (3) 「日本語本語学習者の『言語不安』を制御する e-Learning の効果」日本教育工学会第20回全国大会、東京工業大学、2004.9.23
- (4) 「日本語学習者の言語不安を制御する e-Learning —ベトナムと中国の学生を対象として—」日本教育工学会研究会・国際交流と教育工学、長崎大学、2005.1.22

### 研究プロジェクト

- (1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)(2)：外国語不安を軽減し、口頭表現能力を高める日本語学習環境のモデルの構築(研究代表者)
- (2) 松下視聴覚財団研究助成金：学習者の「言語不安」に着目した日本語教育におけるe-Learningの活用とその効果(研究代表者)
- (3) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)(2)：中国語母語話者に対する社会科学系専門日本語教育のための教材開発(研究分担者)

### 松岡 弘

#### 編著書

- (1) 『開かれた日本語教育の扉』（五味政信との共編著）スリーエーネットワーク、2005.2

#### 論文

- (1) “On the Universality of Language Education:What Jan Amos Komensky (Comenius) Has Taught to a Japanese Language Teacher” Hitotsubashi Journal of Social Studies,36(1), pp1-8, Hitotsubashi University, July 2004
- (2) 「日本語教育とはなにか」『開かれた日本語教育の扉』松岡弘・五味政信編著、pp4-17、スリーエーネットワーク、2005.2
- (3) 「テーマ別分類による辞書並びに第二言語教科書－J. A. コメニウス著『開かれた言語の扉』の周辺－」『一橋論叢』133(3)、pp1-29、一橋大学一橋学会、2005.3

### 横田 雅弘

#### 著書

- (1) 『留学生アドバイジング～学習・生活・心理をいかに支援するか～』（共著 白土 悟）、ナカニシヤ出版、P360、2004.12

#### 論文

- (1) 「大学・商店主・市民・行政が取り組むまちづくりと商店街の活性化」中小商工業研究、81、pp29-34、2004.10
- (2) 「生活実践から学ぶ『授業』」『開かれた日本語教育の扉』松岡弘・五味政信編著、pp222-236、スリーエーネットワーク、2005.2

#### 報告書

- (1) 『日本関連フェローシップ・プログラム調査』（太田浩、中本進一と共著）第1章・第2章、国際交流基金、pp9-60、2004.11

- (2) 『アジア太平洋諸国の留学生受け入れ政策と中国の動向』平成 15、16、17 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 研究代表者：横田雅弘、「日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向～来るべき日本の留学交流戦略の構築～」平成 16 年度報告書、pp363、2004.3

#### 研究プロジェクト

- (1) 国際交流基金プロジェクト：日本と海外のフェローシップ比較調査・研究（研究代表者）  
(2) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)(2)：日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向～来るべき日本の留学交流戦略の構築～（研究代表者）

#### 教員の海外渡航

##### 井村 倫子

- (1) 2004.9.9～9.15 フィリピン（マニラ）、シンガポール 日本人学校、日本大使館、日系病院等での聞き取り調査  
(2) 2004.11.24～11.29 ベトナム（ハノイ・ホーチミン市） 日本留学フェア参加等  
(3) 2005.2.10～2.16 タイ（バンコク） 日本人学校、日本大使館、病院、日系関連団体、タマサート大学、マヒドン大学での聞き取り調査

##### 太田 浩

- (1) 2004.5.23～5.30 米国（ボルチモア） NAFSA 56th Annual Conference への出席、発表  
(2) 2004.9.7～9.19 米国（ニューヨーク、ワシントン） 文部科学省科学研究費補助金を受けている共同研究プロジェクト（大学国際化の評価指標策定に関する実証的研究）の一環として、米国の大学評価機関、国際教育機関国務省、国際化の評価を行った大学の実態調査  
(3) 2004.9.23～9.27 中国（上海） 日中留学交流シンポジウムへの出席、発表  
(4) 2005.1.8～1.12 マレーシア（クアラルンプール） 文部科学省科学研究費補助金を受けている共同研究プロジェクト（日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向）の一環として、マレーシア政府のトランスナショナル教育への対応に関する調査  
(5) 2005.2.16～2.21 米国（ワシントン DC） AIEA Annual Conference への出席、発表

##### 河野 理恵

- (1) 2004.9.24～27 中国（上海） 中日留学生教育学術シンポジウム参加  
(2) 2004.10.28～30 中国（北京） 一橋大学北京事務所開設式典参加

### 3. 留学生センター教員研究活動報告

#### 五味 政信

- (1) 2004.11.11～11.18 フランス (パリ) ルノー財団 PARISTECHMASTERS 設置記念式典への出席等
- (2) 2004.11.24～11.29 ベトナム (ハノイ、ホーチミン市) 日本留学フェア参加等

#### 三枝 令子

- (1) 2004.3.19～26 中国 (北京、西安) 中華人民共和国北京語言大学中国語能力試験センター、他北京市、西安市の大学での科学研究費による調査ならびにシンポジウム参加

#### 中本 進一

- (1) 2004.10.19～10.23 米国 (ペンシルバニア) ペンシルベニア大学留学フェア参加
- (2) 2004.11.5～11.9 タイ (バンコク) 日本留学フェア参加

#### 西谷 まり

- (1) 2004.4.28～5.3 中国 (山東省煙台) 煙台師範大学での国際シンポジウム「21 世紀中国における日本語教育研究」において研究発表
- (2) 2004.9.3～9.7 ベトナム (ホーチミン市) ハノイ貿易大学ホーチミン分校での松下視聴覚財団研究助成金による e-Learning の教育実験
- (3) 2004.9.8～9. 15 中国 (吉林省長春) 東北師範大学での松下視聴覚財団研究助成金による e-Learning の教育実験
- (4) 2004.12.17～12. 19 韓国 (ソウル) オープンサイバー大学での松下視聴覚財団研究助成金による e-Learning の教育実験
- (5) 2004.12.21～12.24 中国 (武漢) 華中師範大学での松下視聴覚財団研究助成金による e-Learning の教育実験
- (6) 2005.1.2～1.5 ベトナム (ホーチミン市) ハノイ貿易大学ホーチミン分校での文部科学省科学研究費補助金による言語不安の調査

#### 横田 雅弘

- (1) 2004.8.27～9.1 中国 (青海、濱州) 朝日新聞アジアネットワーク研究員として中国帰国留学生の動向調査
- (2) 2004.9.18～9.27 中国 (北京・上海) 文部科学省科学研究費補助金による共同プロジェクト (日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向) の一環として、中国調査ならびに CAFSA 大会における発表
- (3) 2004.10.27～11.3 ニュージーランド (ウェリントン、オークランド) 朝日新聞アジアネットワーク研究員としてニュージーランドの留学交流戦略調査
- (4) 2004.3.14～3.22 英国 (ロンドン、エジンバラ) 文部科学省特色ある大学教育支援プログラムによる英国のまちづくり調査

**留学生センター関連出版物**

- (1) 『国際研究シンポジウム報告書 日中両言語における重なりと異なりー日本語教育の現場からー』一橋大学国際共同研究センター、2004.7
- (2) 『一橋大学留学生センター紀要』7 一橋大学留学生センター、2004.7
- (3) 『Bridges』20 一橋大学留学生センター、2005.3
- (4) 『専門分野の語彙と表現 経済学・商学篇<改訂版>』一橋大学学術日本語シリーズ 10 一橋大学留学生センター、2005.3
- (5) 『一橋大学チューター制度の調査報告 (1999～2003 年の実態調査)』一橋大学留学生センター教育研究シリーズ 6、一橋大学留学生センター、2005.3